

建設事業再評価委員会審議対象事業に対する意見の概要  
 (提出された意見を事務局において取りまとめたものです)

対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
1 槇尾川ダム	<p>(共通)〔 共通様式の葉書による意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府の財政再建のため、不要不急の「槇尾川ダム」事業の中止を求めます。</li> <li>・財政再建に向け、貴委員会の英断を期待いたします。</li> </ul> <hr/> <p>(個別意見)〔 葉書毎の個別意見〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ダムはムダだ。</li> <li>(2) 私達は、美しい自然、調和のとれた環境を残す義務があります。森林こそが天然のダムです。</li> <li>(3) 河川改修をすれば、ダムは不要です。</li> <li>(4) 金のないときは、今必要のないことはやめて下さい。</li> <li>(5) 河川の改修をすればダムは不要です。</li> <li>(6) 時代遅れのダムはやめて下さい。</li> <li>(7) 税金を無駄遣いしてまで建設する必要はないと思います</li> <li>(8) 自然の少なくなった大阪です。生活圏に近い槇尾山の自然を守ってほしい。</li> <li>(9) 貴重な自然を残して欲しいです。</li> <li>(10) ダムを作り、自然を破壊するより、別の方法で洪水対策をして下さい。色々あると聞いています。</li> <li>(11) あまりにもムダな工事ではありませんか。もっと他に活性化する方法を考えるべきだと思います。</li> <li>(12) 治水目的が失われた現在、何故に強行しようとするのか。景気回復の一環としか考えられない。</li> <li>(13) 税金の無駄遣いは止めてほしい。自然を守ってほしい。</li> <li>(14) 莫大な費用を投じて、自然を破壊し、必要のないダムをつくるなんて、何を考えているのでしょうか？</li> <li>(15) 自然をこわすな。</li> <li>(16) 税金の無駄遣いはやめろ。</li> <li>(17) 自然がどんどん失われていく一方です。人間みずからの手で自然破かいするのはやめましょう。</li> <li>(18) 自然を破壊するダム事業は税金の無駄使いです。自然を守り槇尾川の河川改修に最低限の事業にとどめるべき。</li> <li>(19) 貴重な自然を守るために洪水対策としてダム建設以外の方法を考えていただきたい。</li> <li>(20) 税金のムダ遣いはやめましょう。ムダ←→ダム</li> <li>(21) 自然の破壊、財源のムダ使いに反対します。</li> <li>(22) 一時凍結して住民の意見を沢山聞いて下さい。山を崩せば元にもどらない。緑ももどらない。</li> </ol>	<p>個人 個人</p> <p>個人 個人 個人 個人 個人 個人</p> <p>個人 個人</p> <p>個人</p> <p>個人 個人</p> <p>個人 個人 個人</p> <p>個人</p> <p>個人 個人 個人</p>

対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
1 榎尾川ダム ( 続 き )	<p>(23) 失われた自然はもどらない。税金の無駄遣いはやめて下さい。河川改修をすればダムは不要。</p> <p>(24) 少なくともこの財政ひっ迫の今、必要でないことだけは間違いありません。中止して下さい。</p> <p>(25) 自然をこわさないで下さい。2度と元にもどりません。共生こそ21世紀の最大のテーマです。</p> <p>(26) 榎尾川にダムを作ることはないと思います。また自然がなくなる事はとても悲しい事だと思います。</p> <p>(27) 榎尾川の自然は府下有数の価値があり、植物植生は府下最大です。水量は多くありません。数値を見直して下さい。ダムの効果はありません。</p> <p>(28) この財政危機の時に、無駄な工事は全て中止すべし。</p> <p>(29) 市民の意見を尊重して頂きたく、お願い致します。</p> <p>(30) 経済不振の中で、ダム建設という巨大事業でこれ以上の赤字を出すのは納得できません。自然保護の立場でぜひ考え直して下さい。</p> <p>(31) 豊かな森林を破壊してまでダムを作る必要はなく、河川改修をすればいいのではないのでしょうか。</p> <p>(32) 榎尾川のような小さな川に何故ダムがいるのでしょうか。良い加減に税金の無駄遣いは止めて下さい。</p> <p>(33) 税金のムダ遣いはやめて下さい。ダムはムダです。</p> <p>(34) 税金の使い道、もっと考えてほしい。</p> <p>(35) ダムはいりません。自然が大事です。</p> <p>(36) 自然を破壊しないで。</p> <p>(37) 技術的な検討内容が到底批判に耐えられない。担当者はコンサルタントの報告書の内容のまちがいを理解していない。</p> <p>(38) ムダな公共事業が多すぎる。血税はもっと有効に使い。</p> <p>(39) ダムが本当に必要なのかどうかの検討があちこちで起こっています。建設業優先の時代ではありません。</p> <p>(40) 何のためのダムかわかりません。洪水防止については、安上りで効果的な方法が他にあるはずです。</p> <p>(41) ダムは不要だ。</p> <p>(42) 税金のムダ遣いはヤメロ。</p> <p>(43) 榎尾川にダムはいりません。一時凍結を求めます。</p> <p>(44) 今、必要な老人医療などの福祉に対して税金を使って下さい。医者にかかれない老人たくさんいます。</p> <p>(45) 榎尾地区の自然は泉北地区では貴重であり、ゼネコン救済対策のダム工事は不用。</p> <p>(46) ( 記入なし )</p>	<p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人 個人 個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人 個人 個人</p> <p>個人</p> <p>個人 個人</p> <p>個人</p> <p>個人 個人 個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p>

対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
1 槇尾川ダム ( 続 き )	(47) 槇尾山(施福寺)に行き、自然の空気、鳥の鳴声、すずしい風、小川のせせらぎで、かじかの鳴声をきくと心がやすまります。この大事な自然をこわさないで下さい。	個人
	(48) 欧米でもダムが対費用効果が低いのは常識です。寿命とその撤去費用及び計算通りの治水効果がないなど。事業凍結や縮小を何もしないのなら、この委員会こそ一番のムダです。	個人
	(49) もうこれ以上ムダな税金を使わないで下さい。我々は、次世代のため、人類のため自然は残す義務がある。	個人
	(50) 欧米では逆ゼネコンで川のコンクリートをはがしたりダムをこわしたりしているそうです。日本にもこれ以上ダムはいらないと思います。	個人
	(51) ダムは作る→日本沈没 そんな状況に追いこまないで	個人
	(52) 槇尾川ダムのダムは必要としません。	個人
	(53) 簡単にダムを作るという手法で、一刀両断、自然を破壊しないで下さい。	個人
	(54) ムダなダムを作るよりもう時間も残り少ない2000年問題への対策を至急力を入れて下さい。森や自然を残す、それだけでも大きな2000年対策ですよ。	個人
	(55) 山の無い泉大津市民にとって大津川上流の槇尾山付近は休日の心のオアシスである。どうか自然を破壊しないで下さい。	個人
	(56) 多少の景気対策と特定の土建屋さんにメリットはあるかも知れませんが、失うものが多すぎます。	個人
	(57) ( 記入なし )	個人
	(58) 高校の授業料の値上げなどをやめて次の世代育成の為に財源をまわすべきと思います。	個人
	(59) 自然を大切に共生存する事を第一に考えていかねば地球は死んでしまいます。	個人
	(60) 安らげる場所をこれ以上減らさないで下さい。昔は、自然とうまく暮らしていたのに、ダムがないと今は、だめなのですか。	個人
(61) ダムは時代遅れ、逆行、ゼネコンと官の銭まみれ見え見え。やめてください。	個人	
(62) 建設目的は洪水対策といわれていますが、これは疑問が残ります。見直すべきははじめに開発ありきの姿勢そのものです。	個人	
(63) 地元の真の目的は道路を拡張整備することです。このままでは目的が達成されないの山に事業を持ってくる為に水害の可能性をこじつけたのです。	個人	

対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
1 榎尾川ダム ( 続 ぎ )	(64) 和泉市にとっては、残された大事な自然環境。それをこわして迄水量の少ない川にダムはいらない。	個人
	(65) 政官ゼネコンがくるになって、余計な金を使う、大した説明もせず強引なやり方には絶対反対。	個人
	(66) 足元の身近な自然を大切にする気持ちを取り戻して下さい。	個人
	(67) この地域にダムは必要ない。かえって災害を大きくする。環境を考え、乱開発を止め、総合治水で対処すべきだ。	個人
	(68) ( 記入なし )	個人 個人
	(69) 私が住んでいる所から近い佐保川は護岸工事が進みもはや「川」ではありません。子供たちが遊ぶ川といううたい文句のもとに進んでいる工事ですが、その子供たちは魚や虫のいなくなった川には興味がないようです。	個人 個人
	(70) ( 記入なし )	個人
	(71) 榎尾山ではハチクマが上空を舞い、サンコウチョウが鳴きました。ウグイス、キセキレイなどたくさんの種類がいました。鳥がいるということは、それを支える自然が豊かであることです。ぜひこの自然を残してさらに未来へつないでください。	個人 個人
	(72) カジカガエルやサンコウチョウのいる川や森は自然のまままで守ってほしい。	個人
	(73) ダムが本当に必要なら、私たちに分かるように説明して下さい。ここを歩いた人は皆「？」です。	個人
	(74) 私たちが必死で働いてかせいだお金から(税金)、住民も望まないダムをつくる意味は何でしょうか。何としてもこの自然は残したいものです。	個人
	(75) このすばらしい自然をそのまま次代の為に残すべし。	個人
	(76) カジカガエルやサンコウチョウなどが生息しているかけがえのない環境をゼネコンのためにつぶさないで下さい。	個人
(77) ダム建設は役人と土建業界との癒着の産物でしかない。貴重な自然、府民のいこいの場を破壊する犯罪である。	個人	
(78) カジカガエルが多数生息する溪流や周囲のサンコウチョウが生息する林を残して欲しいと思います。	個人	
(79) こんなところにダムつくってどうすんの。ゼネコンはよろこぶでしょうね。	個人	
(80) ダムを造ることのプラスと自然を壊すことのマイナス、それにダムが出来たことにより生ずるマイナスを長い目で考えて下さい。	個人	
(81) 工事の為の工事であり、ムダな費用の執行である。	個人	
(82) まず公聴会等で周知の徹底を。	個人	
(83) 自然破壊反対。	個人	



対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
<p>1 槇尾川ダム ( 続 き )</p>	<p>(124) 自然に生まれ育っている鳥やせみその他の小動物がこの世から消えてほしくない。</p> <p>(125) ドイツ、アメリカのように不要なダムを取り除く方向にお金を使うべき。</p> <p>(126) 自然環境破壊、時代に逆行するダム建設の中止を。</p> <p>(127) ダム予定地は大雨が降っても最も増水しない流域である。行政は推進派とコソコソと話を進めている。自然破壊は止めてほしい。</p> <p>(128) 今のままの自然を残してほしい。</p> <p>(129) 自然破壊はこれ以上してはいけない。</p> <p>(130) 防災事業を行うのであれば、治山の砂防堰堤で充分。</p> <p>(131) 河川改修をすればダムは不要。ダムは自然破壊。</p> <p>(132) ちよろちよろの小川にダムがなぜ必要かわからない。100億のお金をかけて自然破壊は馬鹿げている。</p> <p>(133) 子供たちに豊かな自然をそのまま残そう。</p> <p>(134) 何世代も先までそのままの姿で自然を残してほしい。</p> <p>(135) いつまでも槇尾川の自然を残してほしい。</p>	<p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p> <p>個人</p>

対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
<p>2 ため池： 久米田池地区</p> <p>槇尾川ダム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、田治米畑町線の整備が中断している。</li> <li>・当地は交通不便な場所に立地しており、道路整備が未完では、府民が広く活用することができず、ほんの少数の周辺住民しか訪れることができない区域となってしまう。</li> <li>・事業の継続を要望する。</li> <li>・川幅5 m程度、流れている水は30cm程度のせせらぎ、こんな所に巨大ダムを建設してどう治水に役立つのか理解できない。</li> <li>・観光客に期待する意見もあるが、そのためにはダムに水を満たさねばならず、そうすれば治水の役目は果たせなくなる。</li> <li>・治水池、ため池整備、吸水型舗装、雨水の地下への浸透マス整備、洪水時にのみ排水するバイパス河川整備などによりダムを造らなくとも治水事業はできるのではないか。</li> </ul>	個人
<p>3 槇尾川ダム 道路</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・即刻槇尾川ダムを中止せよ。</li> <li>・道路もこれ以上造るな。</li> <li>・現状の自然を保存することが価値がある。</li> </ul>	個人
<p>4 槇尾川ダム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・槇尾川ダムについては、事業の中止をお願いする。</li> </ul>	個人
<p>5 槇尾川ダム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダム事業が自然環境に与える影響を明らかにすること。 (オオタカをはじめとするワシタカ類の生息調査を実施すること)</li> <li>・上記の影響を軽減するための具体的な方策を明らかにすること。</li> <li>・河川改修等の自然環境に大きな影響を与えない代替案について検討すること。</li> <li>・代替案等との事業経費の比較検討にあたっては、失われることになる自然の価値を正しく評価すること。</li> </ul>	(財) 日本野鳥の会 大阪支部
<p>6 槇尾川ダム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・槇尾川の流域はこれまで洪水により何度も大きな被害を受けて来た。</li> <li>・私たち流域住民の生命及び財産を守るために槇尾川ダムを早期に完成させてもらいたい。</li> </ul>	個人
<p>7 槇尾川ダム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害と火災を守る槇尾川治水ダム早期実現をお願いする。</li> </ul>	個人

対 象 事 業		意 見 の 概 要	提 出 者
8	槇尾川ダム	・私たちの命と財産を守る槇尾川治水ダムの早期着工をお願いする。	個人
9	槇尾川ダム	・大津川において、100年に1度の雨に対応する改修がすでに終わっているのに、泉大津の板原を治水基準点としてダムをつくることの理由が理解できない。 ・森から海への生命のつながりを断ち切るダム計画を中止し河川環境保全と治水事業が両立できる方策を検討してほしい。	大津川自然観察会
10	槇尾川ダム	・十余年前槇尾川ダム建設の情報を入手し、地元住民として水害に対する安堵と喜びを味わった。 ・一日でも早く着手完成していただきたい。	個人
11	槇尾川ダム	・槇尾山には府下でも稀な動植物が多く確認されている。 ・「槇尾川ダム」建設反対。	個人
12	槇尾川ダム	・槇尾川流域は、古くから何度も洪水による被害を受けてきた。 ・大阪府は下流から河川改修を進めているが、上流部にある横山地域の改修が終了するには、何十年もの年月が必要。 ・今般、槇尾川ダムが再評価委員会で審議されると聞き、あらためて地元住民の考えを結集するため、事業推進の要望を募ったところ、約4000人の署名が集まった。 ・ダム事業を着実に進めていただくことが地域住民の願いである。  * { 和泉市大畑町槇尾川ダム対策委員会 和泉市坪井町槇尾川ダム対策委員会 和泉市横山校区連合町会 }	地元3団体（*）
13	槇尾川ダム	・私たちの命とくらしを守るために、槇尾川ダムを早期完成する必要がある。 ・地元の我々はダム事業の推進に協力してきた。大阪府も最大の努力をしてもらいたい。	個人
14	槇尾川ダム	・私たちの命とくらしを守るために、槇尾川ダムを早期完成する必要がある。 ・地元の我々はダム事業の推進に協力してきた。大阪府も最大の努力をしてもらいたい。	個人



対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
15 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私たちの命とくらしを守るために、槇尾川ダムを早期完成する必要がある。</li> <li>・ 地元の我々はダム事業の推進に協力してきた。大阪府も最大の努力をしてもらいたい。</li> </ul>	個人
16 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 槇尾ダムの早期ダム着工をお願いする。</li> <li>・ 川添えの民家、畑はたびたび水のこわさを経験している。</li> <li>・ 大きな水害が起きてからではおそい。</li> </ul>	個人
17 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この事業が本当に必要なものか、もう一度チェックをお願いする。</li> <li>・ 最近では、いいかげんなアセスメントをしたとして、市民らが事業者として地方公務員を訴えて、罰金判決も出ている。</li> <li>・ 無駄な利権のみを求める事業に許可をあたえるなら、再評価委員の方にも、そういう立場に立ってもらわねばならない。</li> </ul>	個人
18 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和泉市の関西空港建設同意の見返りとして、ダム建設をするための付け替えという口実で道路を建設するというのが真実である。</li> <li>・ 当局がいう程の治水効果が期待できないことは明らか。</li> <li>・ ダム建設は、コストパフォーマンスの観点、自然環境の観点から時代遅れ。</li> <li>・ 事業進捗率は0%であり、今すぐに中止すれば実害なし。</li> <li>・ 以上の観点から、槇尾川ダムの建設中止を強く求める。</li> </ul>	個人
19 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 槇尾川治水ダムの話が持ち上がって13年経つ。一日でも早く事業に取り組んで欲しい。</li> </ul>	個人
20 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5～6年に1度の洪水での田畑の被害や去る5/18～5/22の山林火災の際の水不足等々、治水ダムができていればとの思いが強い。</li> <li>・ 早期実現をお願いする。</li> </ul>	個人
21 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横山地区のみならず槇尾川流域では毎年の梅雨期や秋の台風時には常に洪水による被害が想定される。</li> <li>・ 府財政逼迫の折りとは思いますが早期実現をお願いする。</li> </ul>	個人
22 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全で安定した水の流れを創る槇尾川ダムは命のふるさと</li> </ul>	個人



対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
40 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私たちの命とくらしを守るため早期完成が必要。</li> </ul>	個人
41 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダム計画地は、里山の多様な自然が残る堺市の南部丘陵から和泉山脈につながる「緑の回廊」部分にあたる。</li> <li>・ イワキオサムシやオオタカ、ノスリなどが槇尾山一帯に棲息できるのは、そこに良好な森林が残っていることを意味する。</li> <li>・ ダムによる代替道路ができると、この良好な森林も無くなり、槇尾山ばかりか堺市の南部丘陵からも生き物の姿が消えてしまう。</li> <li>・ 専門家の意見でも、防災効果に疑問のある槇尾川ダム計画を見直していただきたい。</li> </ul>	鉢ヶ峯の自然を守る会
42 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの大型開発は、都市景観や自然環境をほとんど考慮してこなかった。</li> <li>・ 洪水対策は多様な方法があり、百億円もかけてコンクリートの塊を造ろうとする今回の計画は、納得ができない。</li> <li>・ 大阪府の財政が破綻している中での着工は見直していただきたい。</li> </ul>	個人
43 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替道路が山側に造られると、森林景観が失われ、古くからの西国三十三ヶ所の参道と深山幽谷の趣が無くなってしまう。</li> <li>・ 渓谷には、多様な生き物が棲息している。</li> <li>・ 洪水を防ぐには、森林の保全をした方が、温暖化防止の働きもし、都市住民の緑を求める欲求にもかなう。</li> <li>・ ダムは、土砂などの流入により50年ももたないことは、よく知られている。</li> <li>・ 計画の中止を求める。</li> </ul>	堺野鳥の会
44 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 槇尾山は施福寺という歴史的な寺院、広大な植樹林・自然林を有し、様々な動植物が生息している。</li> <li>・ この自然を破壊して、100億円もつぎこむ値打ちのあるダムか疑問である。</li> <li>・ 市房ダムのある水上村では、ダムが出来て40年の現在、失ったものが多く、昔から大事にしている自然との共生の知恵に学ぼうと、「水の上の学校」を企画しているそうである。</li> <li>・ このようなダム先進地域の方たちの反省の弁を率直に聞く必要がある。</li> </ul>	個人

対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
45 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画段階からの情報公開、住民・市民参画がなく事業の透明性がみられない。</li> <li>・採石場の影響による土砂堆積があることや河川改修で洪水対策になることは多くの人が指摘している。自然を生かした河川対策をとることがよい方法である。</li> <li>・ダム予定地は動植物も豊富であり、環境を保全する方法について、行政も市民も参加して、よい知恵を出すべきである。</li> </ul>	個人
46 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダム予定地の流域面積は全流域面積の3%しかなく、治水効果は疑問である。</li> <li>・洪水の原因はむしろ東槇尾川上流の大規模な採石等の山を削ったことである。</li> <li>・代替案としてこの東槇尾川流域の乱開発のところにため池を作ってやる方が理に適っている。</li> <li>・ムダ使いにつながる槇尾川ダムの建設は再考した方がよいと考える。</li> </ul>	個人
47 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業決定に至る経緯が不透明である点、治水効果に大きな疑問がある点、近郊緑地保全区域内の自然環境を破壊してまで実施すべき事業と考えられない点、これまでの公開質問状に対する府の不誠実な回答等から判断して、当該事業は公共性が極めて低く、直ちに中止すべき。</li> <li>・河川水理学等の専門的見地から、①「国土問題研究会」の見解が正しいのか府の主張が正しいのか、②大阪市立大学工学部高田直俊教授の見解が正しいのか府の主張が正しいのか、について個々の項目についての検討が必要である。</li> <li>・ダム事業の直接の契機となった昭和57年水害の実証をすべきである。</li> <li>・府が主張するように「ダムが最も経済的で早期に治水効果を発揮できる」のかどうか検証すべきである。府は代替案を真剣に検討した経緯が見られない。</li> <li>・府がまとめた「槇尾川ダム地域の自然」という報告書にはダム事業を行うことによる自然環境への影響について個別具体の記述がされておらず、環境影響評価の体裁をなしていない。</li> <li>・再評価委員会では徹底的に論争する公聴会が必要である。</li> <li>・再評価委員会がその論争を評価し、結果を公表すべき。</li> <li>・未決着の論点がある限り公聴会を何度でも開催すべき。</li> <li>・大阪府に対して18,360人分（第一次分12,733人、追加分5,627人）の署名を提出した。</li> </ul>	槇尾川ダムの見直しを求める連絡会

対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
48 檜尾川砂防ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府茨木土木事務所が配付したチラシに府民はほとんど気づいておらず、「十分説明しコンセンサスを得た」とは言えない。</li> <li>・チラシが取り上げている1953年9月の浸水は、砂防ダムで防げる災害ではない。</li> <li>・天井川になるのを防ぐには砂防ダムではなく、定期的な下流域の川床のしゅんせつが必要。</li> <li>・耐用年数を越えた砂防ダムは大出水の際には底抜けなどを起こしかえって土石流や洪水の被害を大きくする恐れがある。</li> <li>・特に本砂防ダムは流れの緩やかな川床勾配のほとんどないところであり、必要性に疑問がある。</li> <li>・巨大なクローズドタイプの砂防ダムは、生態系に大きな影響を与える。</li> <li>・高槻市民全体が選択すべき問題であり、地権者の了解だけで済む問題ではない。一旦凍結し、広く意見を問うてから再出発すべき。</li> </ul> <p style="text-align: center;">* { 高槻市高垣連合自治会 第2名神・牧野高槻線対策委員会 }</p>	地元団体 (*)
49 檜尾川砂防ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防ダム建設予定域の溪流は固結した岩盤上を流れており土砂の流出が少ない地層である。</li> <li>・渓床土砂は少なく、治山ダムの目的にふさわしくない。</li> <li>・第2名神自動車道路や砂防ダムの工事により森林が伐採されると、保水性が低くなり、土砂災害の危険性が高くなるため、その対策を示すべき。</li> </ul>	個人
50 檜尾川砂防ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、意見や疑問に適切な答えがないまま「必要性は認めるが」と安易な答申をまとめられたことは残念。</li> <li>・森林や水田は、水量調節の役割を果たし土砂を一気に下流に流す危険を防ぐ。巨大な砂防ダム建設は、多くの木を伐採し水田をつぶすことはいうまでもなく建設用道路なども含め多くの自然を破壊することになる。</li> <li>・土砂流出は採石場をはじめとする森林伐採が主原因。</li> <li>・予定地は府民にとって貴重な自然である。</li> <li>・予定地は土石流危険溪流でも、急傾斜地崩壊危険箇所、地滑り危険箇所でもなく砂防ダムの必要性疑問。</li> <li>・再評価委員会で審議しながら、建設推進のチラシを配布したり、推進のための地元説明会を準備する府の行動は納得できない。</li> <li>・委員には是非予定地周辺を歩いていただきたい。</li> </ul>	個人

対 象 事 業		意 見 の 概 要	提 出 者
51	田尻川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔から川幅の狭い田尻川は大雨毎に氾濫し、水害が発生していた。</li> <li>・現在中断された状態であるが、治水の観点から一日も早く継続着工をすべき。</li> </ul>	個人
52	田尻川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水の度に河川の土手が崩壊するため、土手全体がコンクリートで覆われ、拡幅改修も進められてきたが、「落差の大きい堰」がある地点では、一部水利権者が現状維持を主張し、工事が中断され、洪水が繰り返されている。</li> <li>・平成11年には揚水ポンプの工事が完成しているので、事実上堰は不要となり、「堰を廃して河川を拡張」する工事は再開できるはずである。</li> <li>・平成4年から、「河川拡幅」計画から「圃場整備と河川付け替え」計画に変更されたが、堰に接するわが水田は、堰の処遇が未解決のため改良区から除外され、組織的な給排水路・農道が整備される機会を奪われた。</li> <li>・工事を早急に再開していただきたい。</li> </ul>	個人
53	国道166号（南阪奈道路）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道166号線は車の往来が激しく、歩道もなく危険。</li> <li>・道路周辺住民にとっては公害や危険など不利益ばかり。</li> <li>・まず歩道を作るべき。</li> </ul>	個人
54	寝屋川公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寝屋川公園は3つの要素（防災公園・緑地公園・運動公園）から成り立っており、その中の防災公園としての強化がまだである。</li> <li>・大阪府の防災拠点を強化しておくことは、府民の財産になりうる。</li> </ul>	個人
55	寝屋川公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じお金を使うなら、狭い道路に川等いろいろある。</li> <li>・公園は近くの人には使えるが大抵の人は関係がない。</li> <li>・数少ない竹や木を切り、緑をなくして、そんなに広い公園が本当に必要か疑問である。</li> </ul>	個人
56	ため池：熊取地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事は完成に近づいており、周辺住民は憩いの場所の出来るのを楽しみにしている。</li> <li>・府の財政がきびしいと聞くが、完成寸前で工事延期にならないようお願いする。</li> </ul>	住民16名

対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
57 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川幅がわずかの小さな谷になぜダムが必要なのか。</li> <li>・ダムを作らなくても他の方法で十分治水できるのではないか。</li> <li>・美しい川と石地蔵さんのほほえむ山道をこわさないで。</li> </ul>	個人
58 槇尾川ダム	<p>槇尾川治水ダム建設計画概要書の矛盾点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和57年8月の洪水被害場所である泉大津市板原町の槇尾川と牛滝川の合流地点の浸水原因は、牛滝川の氾濫によるもので、当該ダムの必要性の説明にならない。</li> <li>・川幅を広げる方法は都市化が進展し困難とあるが、現況では河川岸まであまり都市化の進展はみられない。</li> <li>・遊水地を造る方法は都市化が進展し困難とあるが、行政側は遊水地を壊すことに邁進しているのではないか。</li> <li>・植林をする方法については、山地が少ないとあるが、和泉市の場合は、市街化調整区域において開発や開発許可を与え山地を壊しているのではないか。</li> <li>・ダムが一番効果的な方法とのことだが、大津川水系の中で一番流域面積の狭い支流のダムが効果的とは理解できない</li> <li>・降雨流出量は、樹木の皆伐により2倍増、地面の浸透性をなくすことで2倍増になる。開発をなしても自然形態を壊さないように計画すべき。</li> </ul> <p>槇尾川治水ダム建設計画根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダム計画根拠において、合流地点（治水基準点）での各基本高水流量を槇尾川で750 m<sup>3</sup>/秒と牛滝川で600 m<sup>3</sup>/秒の計1350m<sup>3</sup>/秒とし、槇尾川の計画高水流量を700 m<sup>3</sup>/秒に減らすためにダムが必要としているが、平成8年竣工した大津川河川改修時の合流地点での基本高水流量1300m<sup>3</sup>/秒と矛盾する。</li> <li>・基本高水流量を1300m<sup>3</sup>/秒とすると、槇尾川では721.5 m<sup>3</sup>/秒となり、ダム計画は不要ではないか。</li> </ul> <p>槇尾川治水ダム建設「費用対効果」</p> <p>(甲) 当該ダム建設用地買収費とその工事費及び工事用付替道路用地買収費とその工事費及び建設後の維持管理費の投資予想総合計額</p> <p>(乙) 当該ダム建設に因って槇尾川河川改修の簡素化出来得る区間の節約費用の合計額</p> <p>以上の(甲)：(乙)を比較すれば(甲)の投資額が断然多いと判断できる。</p>	個人

対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
58 槇尾川ダム ( 続 き )	<p>当該ダムの代替私案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 槇尾川ダムは、狭い流域のみ対象で、他流域の治水対策が示されていないこと、決壊した際には多大の被害を及ぼすことから以下の代替案を示す。</li> </ul> <p>( 第一案：槇尾川本流における上流部～中流部の治水対策 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 父鬼川と側川との合流地点の場所の地下に調整池を造る方式。地上には同容量の貯水池を造り、地下貯水分をポンプ揚げする。</li> <li>* 槇尾川ダムより流域面積が広い、決壊の危険性がほとんどない、歴史ある参道及び清流を破壊しない、父鬼川の治水もできる、灌漑用水も確保できる等の利点がある。</li> </ul> <p>( 第二案：槇尾川本流における中流部～下流部の治水対策 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 和泉市和田浄水場の反対側の川添の地下に調整池を造る方式。地上には同容量の貯水池を造り、地下貯水分をポンプ揚げする。</li> <li>* 槇尾川ダムより流域面積が広い、決壊の危険性がほとんどない、貯水を上水として利用すれば大幅な経費節減ができる、施設屋上を球技場に整備すれば地域活性化対策にもなる等の利点がある。</li> </ul> <p>( 第三案：槇尾川の小川にふさわしい山上での治水対策 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 満願寺の滝水の復元のため、頂上の各源流部の谷合毎に貯水容量の少ない自然放流式の堰を造る。</li> <li>* 危険な水量が分散され、小川の清流にふさわしい治水対策となる、滝の復元は地域活性化にもなる等の利点がある。</li> </ul>	
59 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水害対策は生態系を壊さず安全を第一に低コストで行なわれるべき。</li> <li>・ 河川改修、合流点の川幅の拡張、堰の科学的な有効利用等で最小のお金で最大のメリットを引き出せる治水行政の再検討をお願いする。</li> </ul>	個人
60 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダムが万一壊れたときや湖面の上の山が崩れたときには危険である。</li> <li>・ 自然に背く工事はやめてほしい。</li> <li>・ 下流の川幅を拡げていくことが大事である。</li> <li>・ 宮之前橋上流 1 0 0 m の地点にある小野田井堰を 1 m 余り低くすることが望ましい。</li> </ul>	個人



対 象 事 業	意 見 の 概 要	提 出 者
61 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多彩な動植物の宝庫である。</li> <li>・ 数メートルしかない川幅で必要性疑問。</li> <li>・ 新たな財政悪化を招き府民に借金を背負わす。</li> <li>・ 由緒ある槇尾山施福寺山内を開発すべきでない。</li> <li>・ 大阪府民、地元住民が望んでいない。</li> <li>・ 先進国では過去のダム開発の失敗を反省し、自然環境回復にやっきになっている潮流に反している。</li> </ul>	長良川河口堰建設に反対する会大阪支部
62 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私達のふる里の命とくらしを守るために早期完成をお願いする。</li> </ul>	個人
63 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界でもダムは撤去される方向に流れている。</li> <li>・ 地権者として早く結論を出して欲しい。</li> <li>・ 緑豊かな山川を破壊してまでの建設は納得できない。</li> </ul>	個人
64 槇尾川ダム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最小限のコストで最大限の成果を出すべきである。</li> <li>・ 大津川の治水対策は部分的な河川改修で十分である。</li> <li>・ 周辺の森林保全を進める方が雇用にも環境にもよい。</li> <li>・ 槇尾川水系は様々な動植物の宝庫であり、保全していくべき。</li> <li>・ 財源が豊かな時期に計画された大型プロジェクトではなく精神障害者の共同作業所のために予算を使うなど、弱者、障害者、低所得者、失業者の福祉にこそ思いきって施策の重点を向けるべき。</li> </ul>	個人